

グローバル社会におけるタイの日本語教育
タイ日関係を緊密化させる日本語教育
タイの中の日本・日本の中のタイ
ータイにおける日本語教育を考えるー

タイ国スィーパトゥム大学教養学部
日本語ビジネスコミュニケーション学科
学科長 森 康真

**Department Chair, Japanese for Business Communication
(JBC), School of Liberal Arts, Sripatum University in Thailand
Asst. Prof. Dr. Yasumasa MORI**

**Thailand's Japanese Language Education
in *Global Society***
**Japanese Language Education that Connects
*Thailand and Japan***
(Japan in Thailand and Thailand in Japan)

**Department Chair, Japanese for Business Communication
(JBC), School of Liberal Arts, Sripatum University in Thailand
Asst. Prof. Dr. Yasumasa MORI**

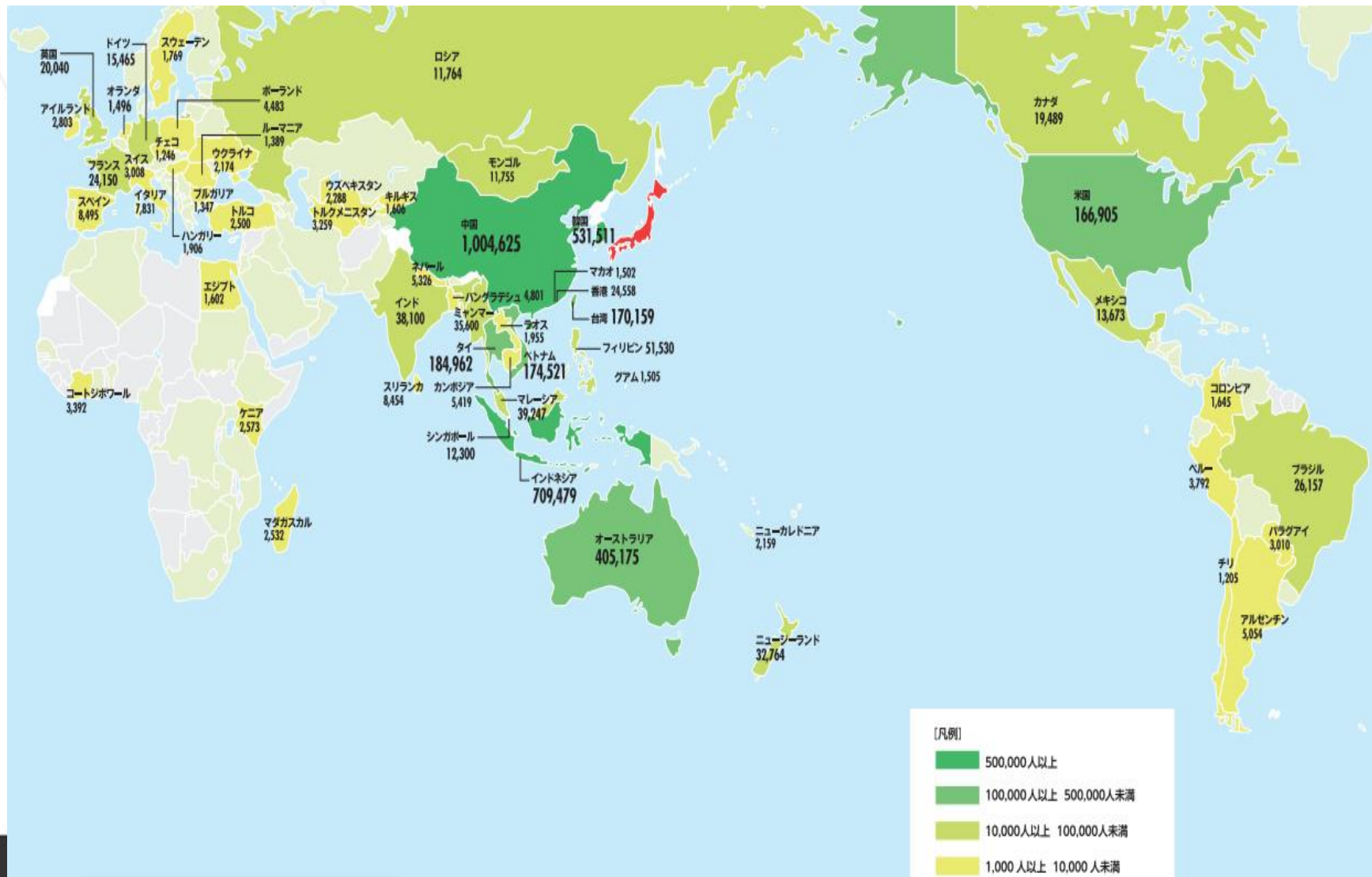




มหาวิทยาลัยศรีปทุม

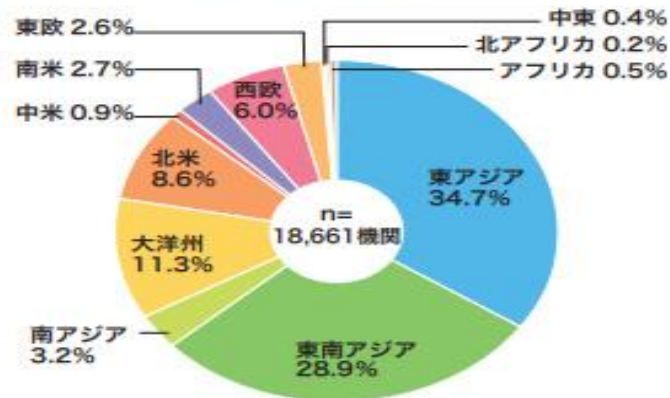
SRIPATUM UNIVERSITY

世界の日本語教育

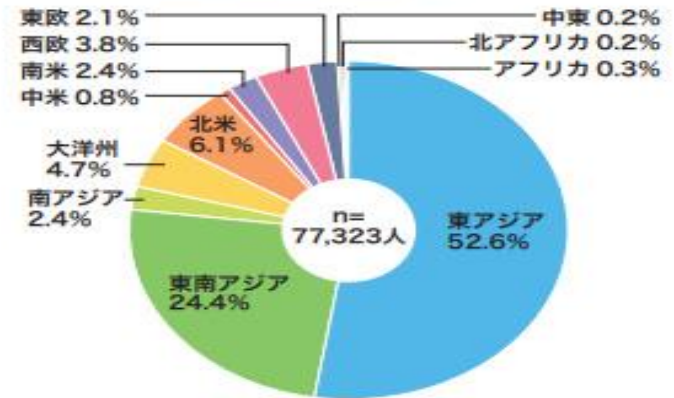


世界の日本語教育

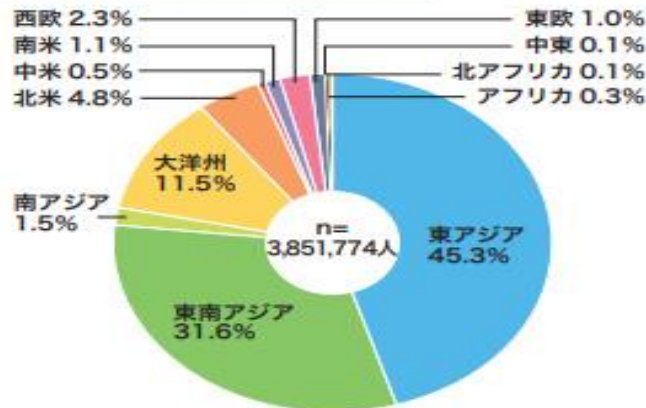
グラフ1-2-1 地域別機関数の割合



グラフ1-2-2 地域別教師数の割合



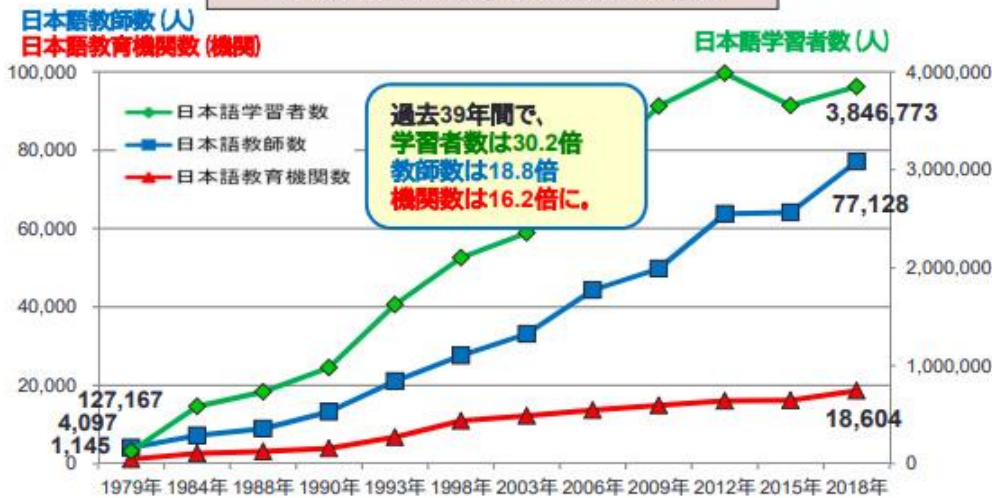
グラフ1-2-3 地域別学習者数の割合



1 海外における日本語教育の状況

(1) 2018年度海外日本語教育機関調査結果 (速報値) の概要 (国際交流基金実施調査)

日本語学習者/教師/教育機関数の推移



調査結果のポイント

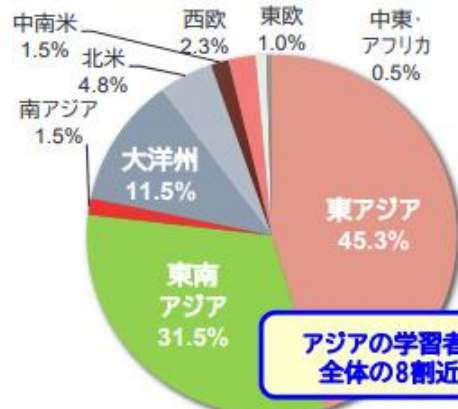
1. 日本語教育の実施は過去最多の142か国・地域で確認
2. 全世界の「日本語教育機関数」と「日本語教師数」は過去最多
3. 全世界の「日本語学習者数」は再び増加し、約385万人に

学習者数上位10か国・地域

	国・地域名	2018年度 学習者数 (人)	増減数※ (人)
1	中国	1,004,625	+51,342
2	インドネシア	706,603	△ 38,522
3	韓国	531,511	△ 24,726
4	オーストラリア	405,175	+47,827
5	タイ	184,962	+11,145
6	ベトナム	174,461	+109,598
7	台湾	170,159	△ 49,886
8	米国	166,565	△ 4,433
9	フィリピン	51,892	+1,854
10	マレーシア	39,247	+6,023

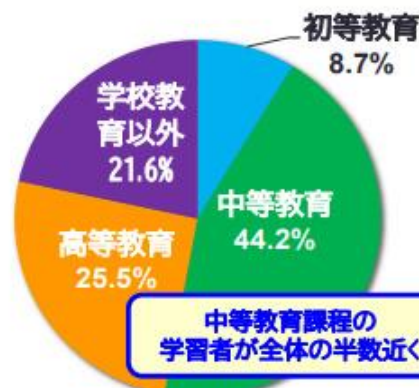
※2015年度調査結果との比較

地域別学習者数の割合 (計385万人)



アジアの学習者が
全体の8割近く

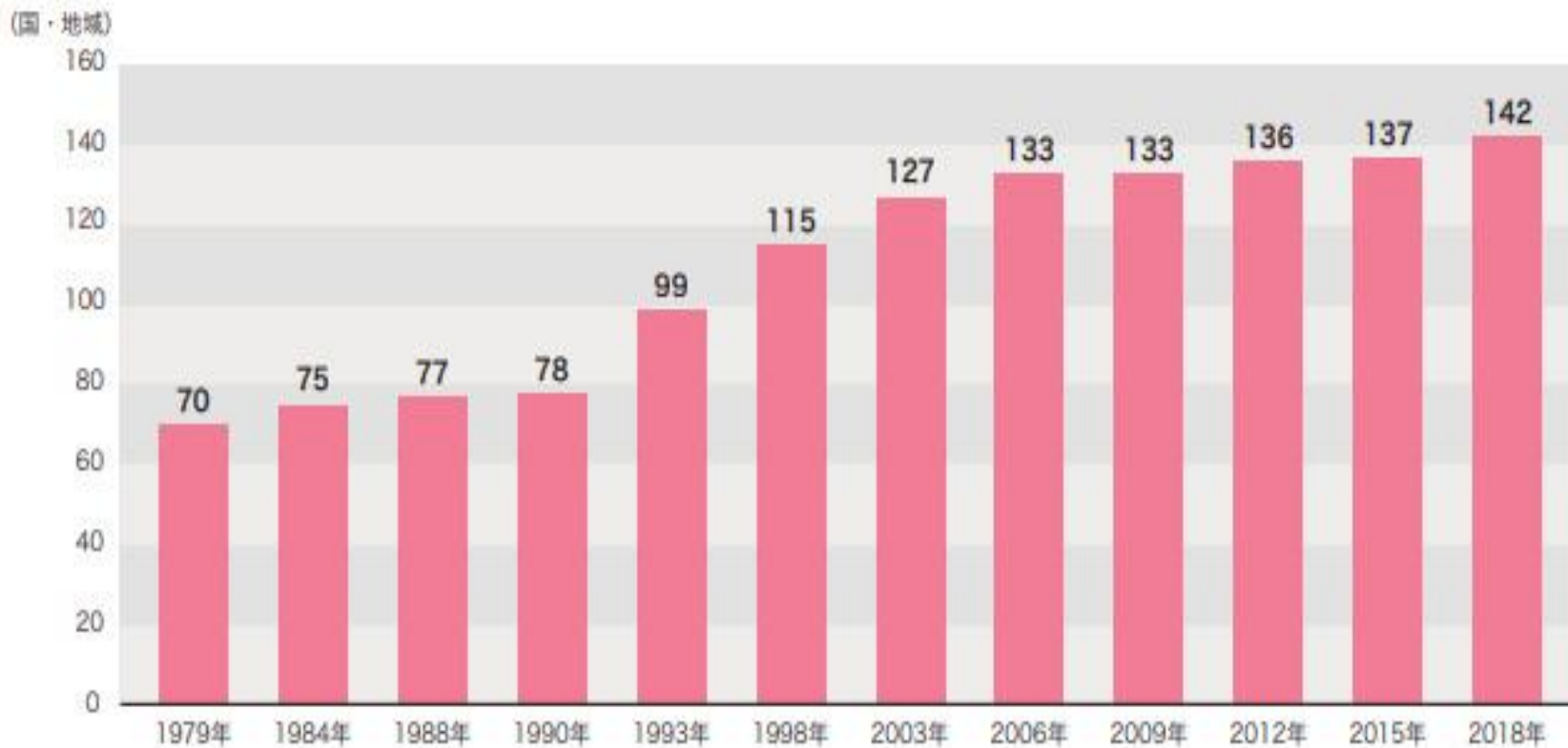
教育段階別学習者数の割合 (計385万人)



中等教育課程の
学習者が全体の半数近く

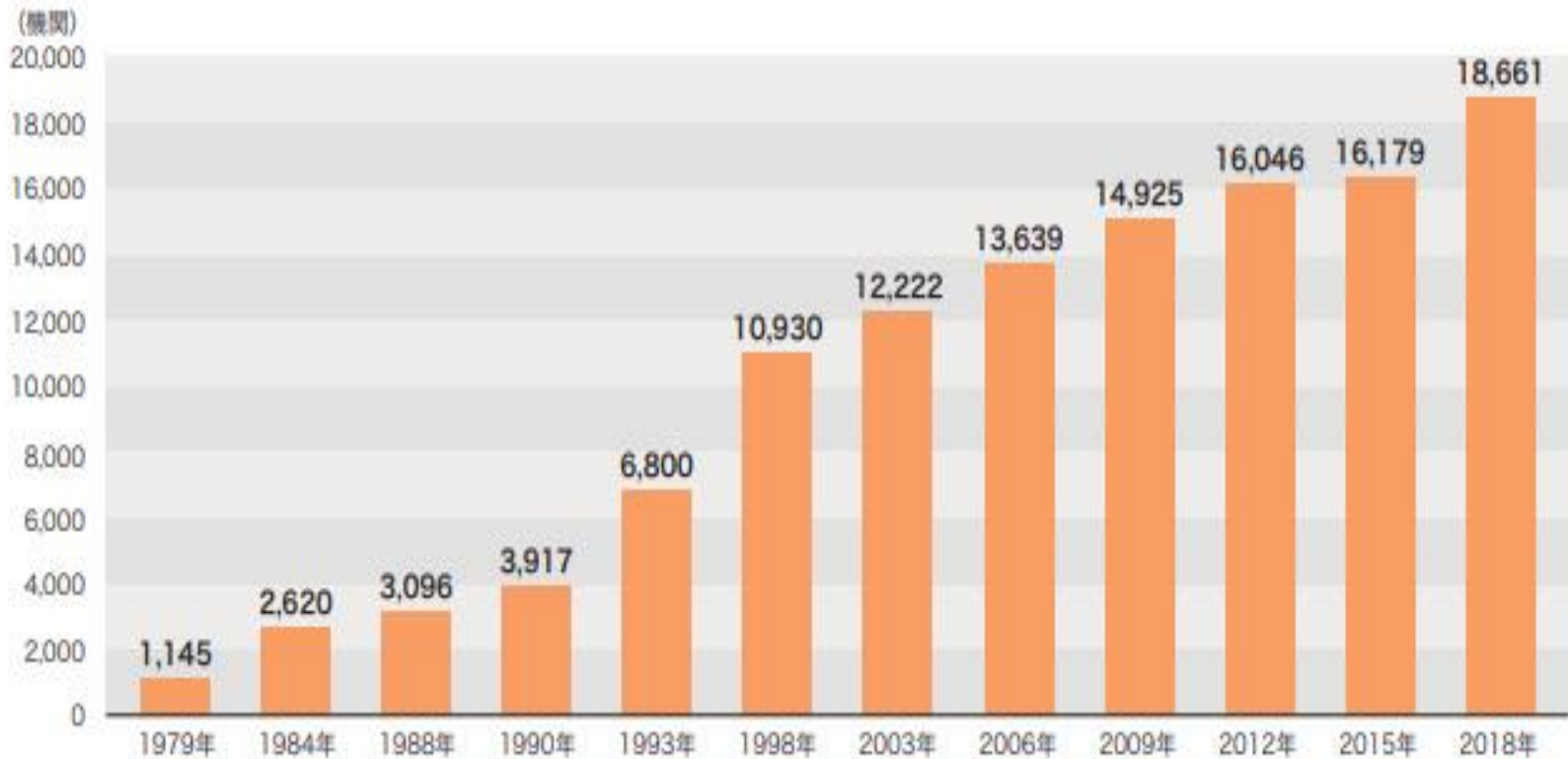
世界の日本語教育(国・地域)

グラフ1-1-1 日本語教育実施国・地域数



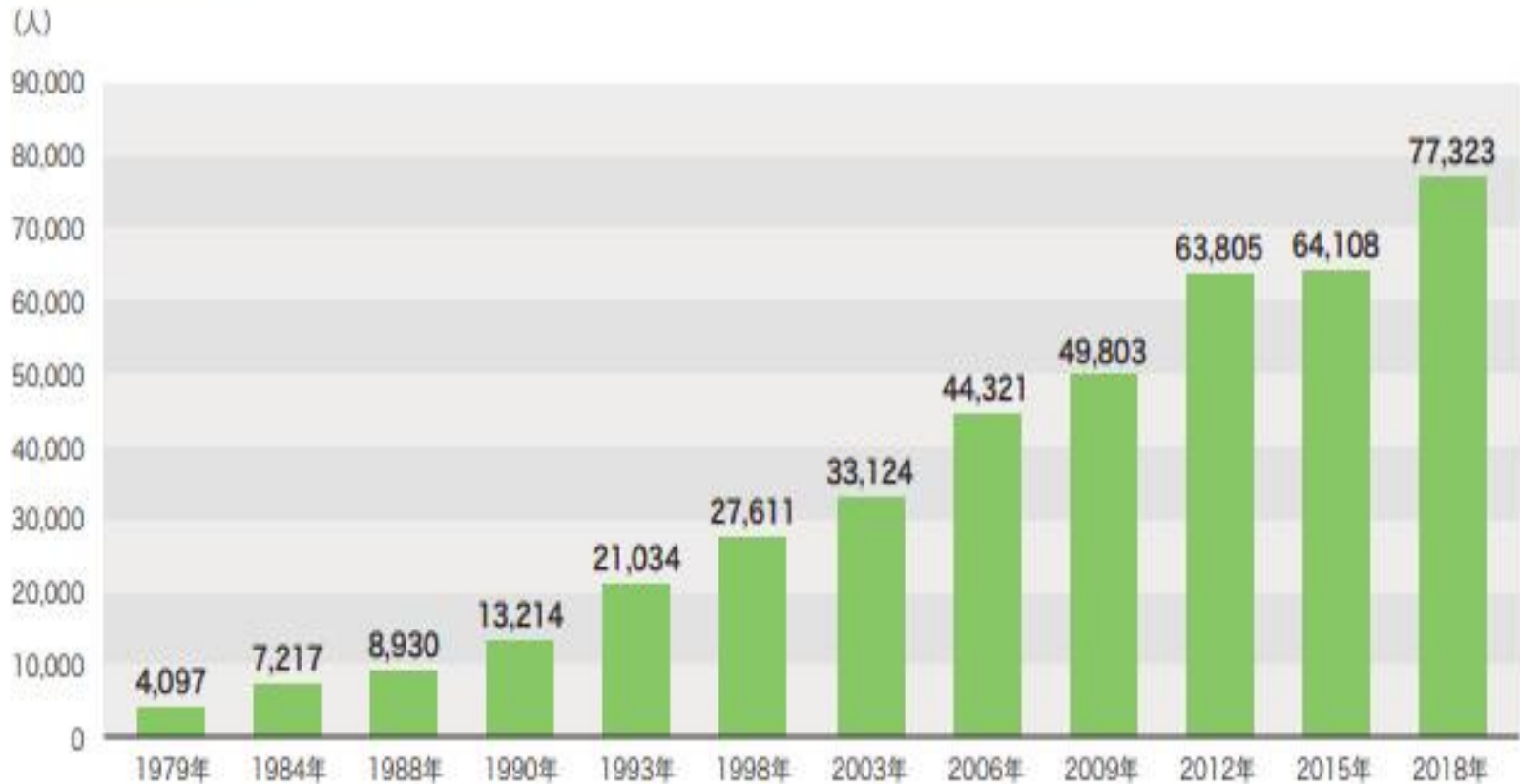
世界の日本語教育(機関)

グラフ1-1-2 機関数



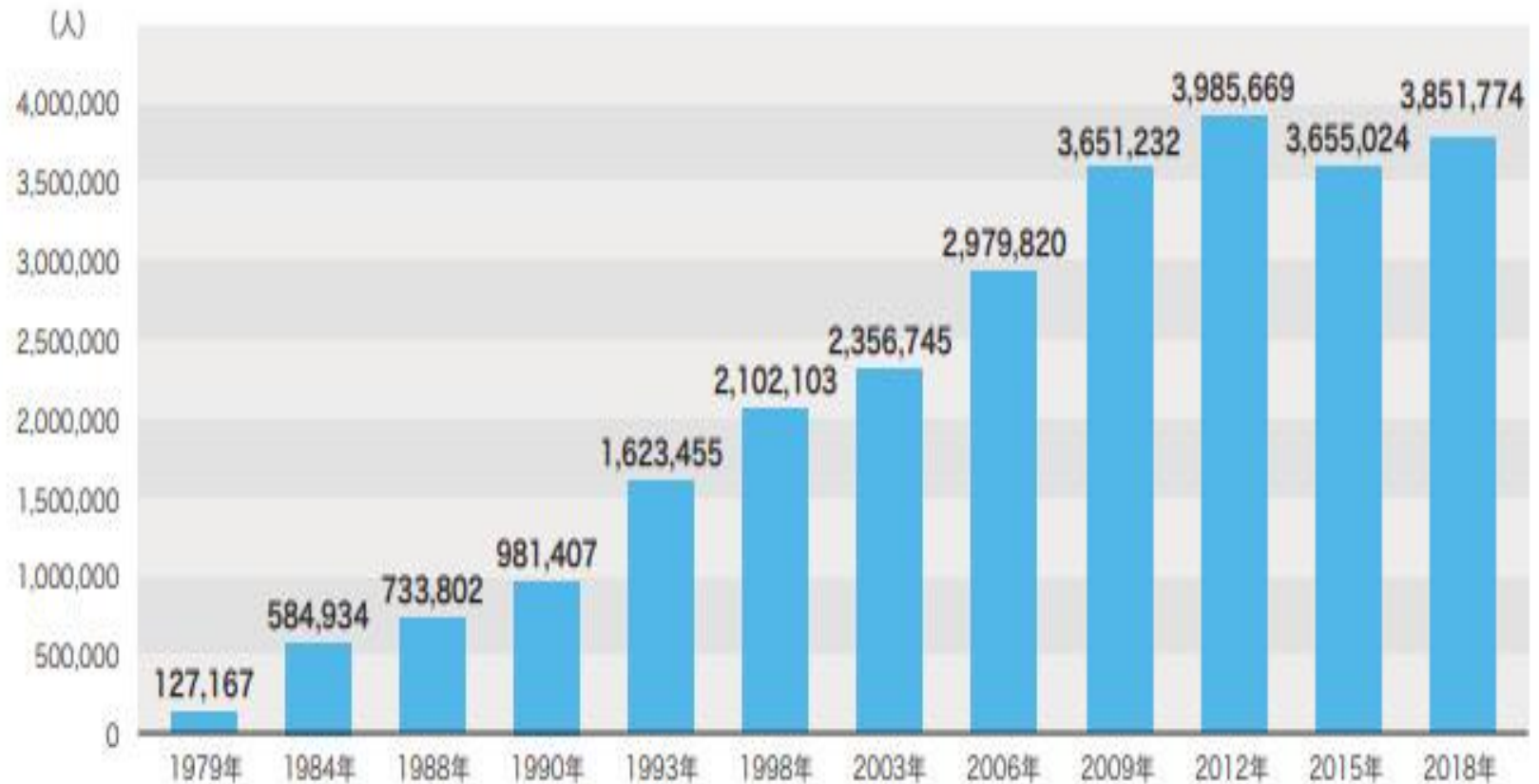
世界の日本語教育(教師)

グラフ1-1-3 教師数



世界の日本語教育(学習者)

グラフ1-1-4 学習者数



世界の日本語教育(まとめ)

1 海外における日本語教育の状況

(2) 調査結果のポイント

日本語教育の実施は過去最多の142か国・地域で確認

- ▶ 前回比 5か国増:ジンバブエ、東ティモール、ベリーズ、モザンビーク、モンテネグロ

全世界の「日本語教育機関数」と「日本語教師数」は過去最多

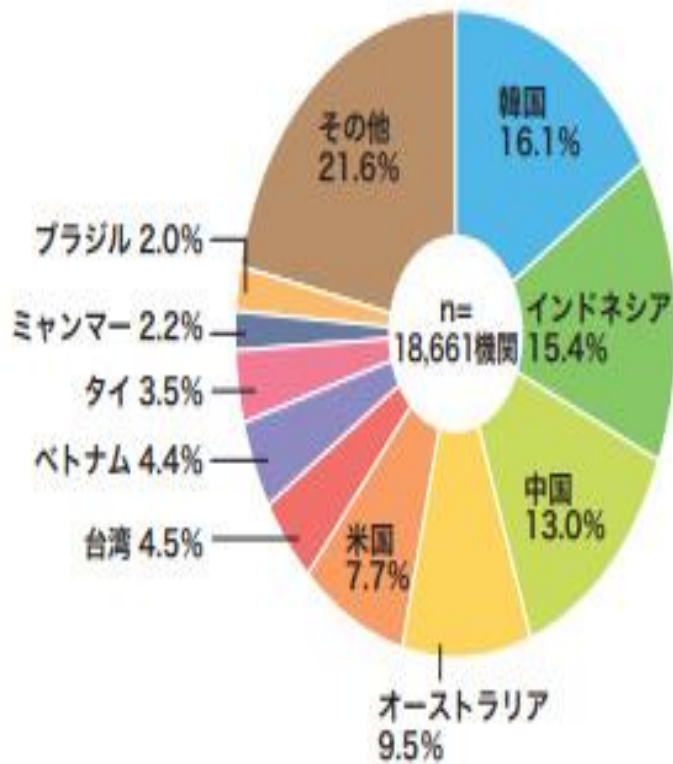
- ▶ 機関数・教師数ともにアジア地域での増加が目立つ
- ▶ 「機関数」 全世界 18,604機関 (2015年調査比15.0% (2,425機関) 増)
インドネシア、中国、ベトナム、ミャンマーで大幅増加
- ▶ 「教師数」 全世界 77,128人 (2015年調査比20.3% (13,020人) 増)
ベトナム、ミャンマーで大幅増加

全世界の「日本語学習者数」は再び増加し、約385万人に

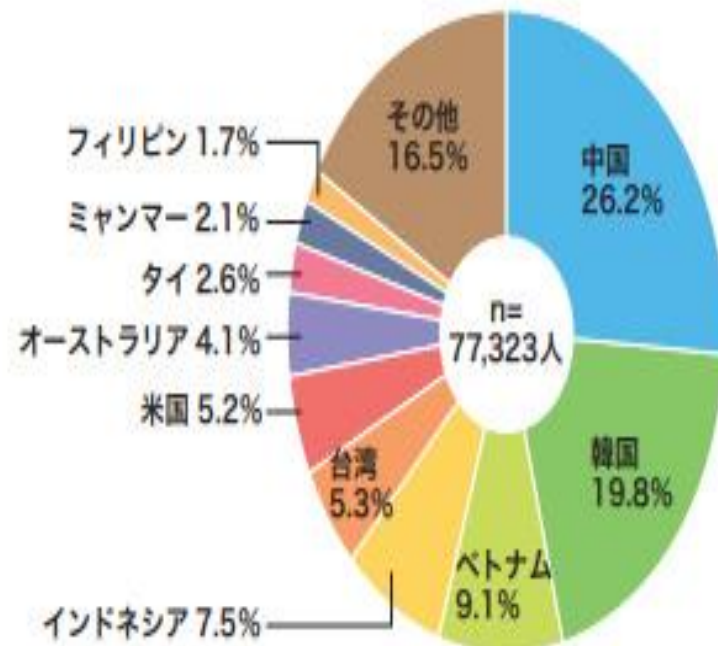
- ▶ 2015年調査で学習者数が初めて減少。今回調査では前回比5.2% (191,749人) 増
- ▶ 学習者数は104か国・地域で増加、41か国・地域で減少
- ▶ 東アジアと北米以外の全ての地域で学習者数が増加
増加:中国、オーストラリア、タイ、ベトナム等 減少:インドネシア、韓国、台湾等
- ▶ 「初等教育」前回比20.9% (57,778人) 増、「学校教育以外」同37.1% (224,963人) 増

タイ王国の日本語教育

グラフ1-2-4 機関数における各国・地域の割合

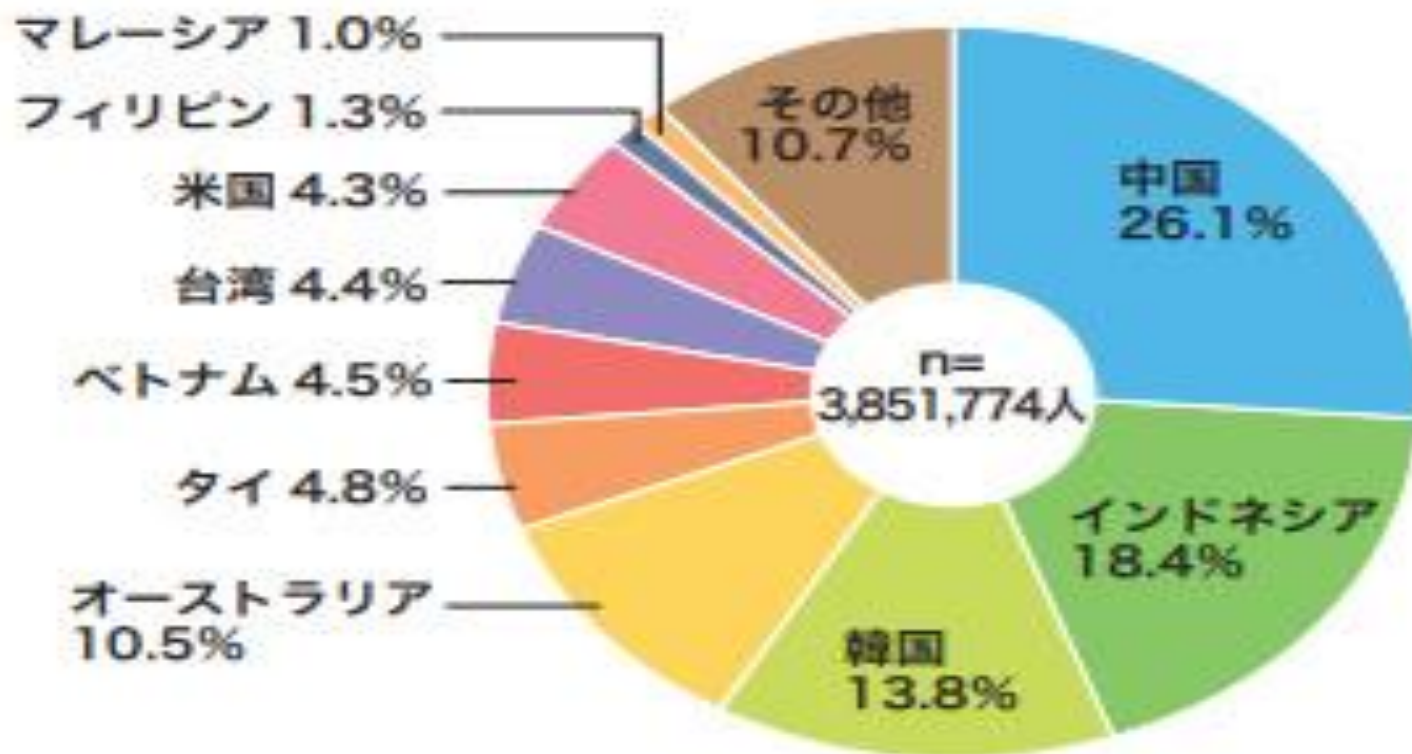


グラフ1-2-5 教師数における各国・地域の割合



タイ王国の日本語教育

グラフ1-2-6 学習者数における各国・地域の割合



タイ王国 (Kingdom of Thailand)



タイ王国の概要

国名

タイ王国（タイ語名：プラテート・タイ／英語名：Kingdom of Thailand）

首都

バンコク（タイ語名：クルンテープ・マハーナコーン※／英語名：Bangkok）

※正式名称：クルンテープ・マハーナコーン・アモンラッタナコーシン・マヒンタラーユッタヤー・マハーディロック・ポップ・ノッパラット・ラーチャタニーブリーロム・ウドムラーチャニウェートマハーサターン・アモンピマーン・アワターンサティット・サッカタッティヤウィサヌカムプラシット

日本語訳：天使の都 雄大な都城 帝釈天の不壊の宝玉 帝釈天の戦争なき平和な都 偉大にして最高の土地 九種の宝玉の如き心楽しき都 数々の大王宮に富み 神が権化して住みたもう 帝釈天が建築神ヴィシュカルマをして造り終えられし都

地理

東南アジアの中心に位置し、国土面積は約51万4000平方キロメートル（日本の約1.4倍）ミャンマー（ビルマ）、ラオス、カンボジア、マレーシアと国境を接しています。

気候

タイは熱帯性気候です。年間の平均気温は約29℃で、バンコクでは一番暑い4月の平均気温が35℃、一番涼しい12月の平均気温が17℃です。季節は11月～2月の乾期、3月～5月の暑期、6月～10月のグリーン・シーズン（雨期）があります。

タイ王国の概要

人口

約6700万人(2019年12月現在)

民族的には、タイ族が約85%、中華系が10%、他にモン・クメール系、マレー系、ラオス系、インド系が暮らししており、山岳部にはそれぞれの文化や言語をもった少数民族が暮らしています。

言語

タイ語

日常会話では地方によって方言があり、山岳部の少数民族は独自の言語を使用しています。観光地のホテルやレストランでは、英語も通じます。

通貨

バーツ (Baht)、補助通貨サタン (1バーツ=100サタン)

硬貨 25サタン、50サタン、1バーツ、5バーツ、10バーツ硬貨の4種類。

紙幣 20バーツ (緑)、50バーツ (青)、100バーツ (赤)、500バーツ (紫)、1000バーツ (グレー) の5種類。10バーツ札もたまに見かけます。

タイ王国の概要

1 面積

51万4,000平方キロメートル（日本の約1.4倍）

2 人口

6,641万人（2018年）（タイ内務省）

3 首都

バンコク

4 民族

大多数がタイ族。その他 華人、マレー族等

5 言語

タイ語

タイ王国の概要

6 宗教

仏教 94%、イスラム教 5%

7 略史

タイ王国の基礎は13世紀のスコータイ王朝より築かれ、その後アユタヤ王朝（14～18世紀）、トンブリー王朝（1767～1782）を経て、現在のチャックリー王朝（1782～）に至る。1932年立憲革命。

経済

1 主要産業

農業は就業者の約40%弱を占めるが、GDPでは12%にとどまる。一方、製造業の就業者は約15%だが、GDPの約34%、輸出額の90%弱を占める。

2 GDP

5,436億ドル (名目、2019年、IMF)

3 一人当たりGDP

7,810ドル (2019年、IMF)

4 経済成長率

2.4% (2019年、IMF)

5 消費者物価指数

0.7 (2019年、IMF)

6 失業率

1.0% (2019年、IMF)

7 総貿易額

- (1) 輸出2,463億ドル (2019年、BOT)
- (2) 輸入2,362億ドル (2019年、BOT)

8 主要貿易品目

- (1) 輸出 自動車・同部品、コンピュータ・同部品、機械器具、農作物、食料加工品
- (2) 輸入 機械器具、原油、電子部品

9 主要貿易相手国・地域 (2019年、BOT)

- (1) 輸出 1.米国 (12.7%) 2.中国 (11.8%) 3.日本 (10.0%)
- (2) 輸入 1.中国 (21.3%) 2.日本 (14.1%) 3.米国 (7.3%)

二国間関係

1 総論

日タイ両国は600年にわたる交流の歴史を持ち、伝統的に友好関係を維持している。長年の両国の皇室・王室間の親密な関係を基礎に、政治、経済、文化等幅広い面で緊密且つ重層的な関係を築いており、人的交流は極めて活発である。

タイにおける在留邦人は75,674人（2018年10月）、タイへの日本人渡航者は約180万人（2019年）、バンコク日本人学校生徒数は2,255人、シーラチャー日本人学校生徒数436人（2020年4月）に上る。

日本における在留タイ人は54,809人（2019年12月）、また日本へのタイ人渡航者は年間約132万人（2019年）に上る。しかし2020年は新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延の影響により、両国間の人々の往来は激減した。

1. タイと日本(タイ日関係)

1. 歴史的・伝統的関係 600年にわたる交流
2. 外交・通商関係 1887年9月26日 → 133年
3. 経済関係(貿易・投資中心 = 製造業)
4. ビジネス(起業)関係(経済活動の多様化)
5. 観光(訪タイ・160万名 ÷ 訪日数・130万名)
6. 現代文化(まんが・ゲーム・アニメ・コスプレ・
日本食・BNK48・テレビ番組吹替など多面性)

タイの現代日本語教育

表1 タイにおける日本語教育の略史

Bussaba (2009)・国際交流基金(2017)を基に発表者が作成

年代	出来事	主な機関
草創期 (1947-1969)	日本語が初めて教えられ、バンコクを中心に大学に行われた。	タイ国元日本留学生協会附属日本語学校 タマサート大学・チュラーロンコーン大学等
発展期 (1970-1989)	大学設置の日本語講座が主専攻に昇格。高校・中学校で正規科目になる。1984年に日本語能力試験(第1回目)が行われる。	カセサート大学・チェンマイ大学等国立大学等
充実期 (1990-現在)	大学の主専攻設置校増加。1991年国際交流基金バンコク日本語センター開設。専門家養成機関として大学院が設置される	タマサート大学・チュラーロンコーン大学・チェンマイ大学・カセサート大学大学院等

タイの日本語教育

表2-2-1 東南アジアにおける機関数・教師数・学習者数

国・地域	2015年			2018年								人口* (人)
	機関 (機関)	教師 (人)	学習者 (人)	機関 (機関)	教師 (人)	学習者 (人)	10万人あたりの学習者 (人)	教育段階の構成(学習者)(人)				
								初等	中等	高等	学校教育以外	
インドネシア	2,496	4,540	745,125	2,879	5,793	709,479	298.6	7,148	650,215	28,799	23,317	237,641,326
タイ	606	1,911	173,817	659	2,047	184,962	280.3	4,028	143,872	20,506	16,556	65,981,659
ベトナム	219	1,795	64,863	818	7,030	174,521	203.3	2,054	26,239	31,271	114,957	85,846,997
フィリピン	209	721	50,038	315	1,289	51,530	51.0	1,217	11,412	13,508	25,393	100,979,303
マレーシア	176	430	33,224	212	485	39,247	138.5	45	19,417	14,720	5,065	28,334,135
ミャンマー	132	524	11,301	411	1,593	35,600	69.1	21	23	1,760	33,796	51,486,253
シンガポール	30	227	10,798	19	221	12,300	326.1	394	1,457	4,056	6,393	3,771,721
カンボジア	29	157	4,009	51	307	5,419	40.5	35	1,205	931	3,248	13,395,682
ラオス	14	49	1,046	16	58	1,955	30.1	312	785	173	685	6,492,228
東ティモール	-	-	-	6	17	651	55.0	0	0	70	581	1,183,643
ブルネイ	2	3	216	2	5	171	43.5	0	0	121	50	393,372
東南アジア全体	3,913	10,357	1,094,437	5,388	18,845	1,215,835	204.2	15,254	854,625	115,915	230,041	595,506,319

※人口は国際連合「Population and Vital Statistics Report 2019」より

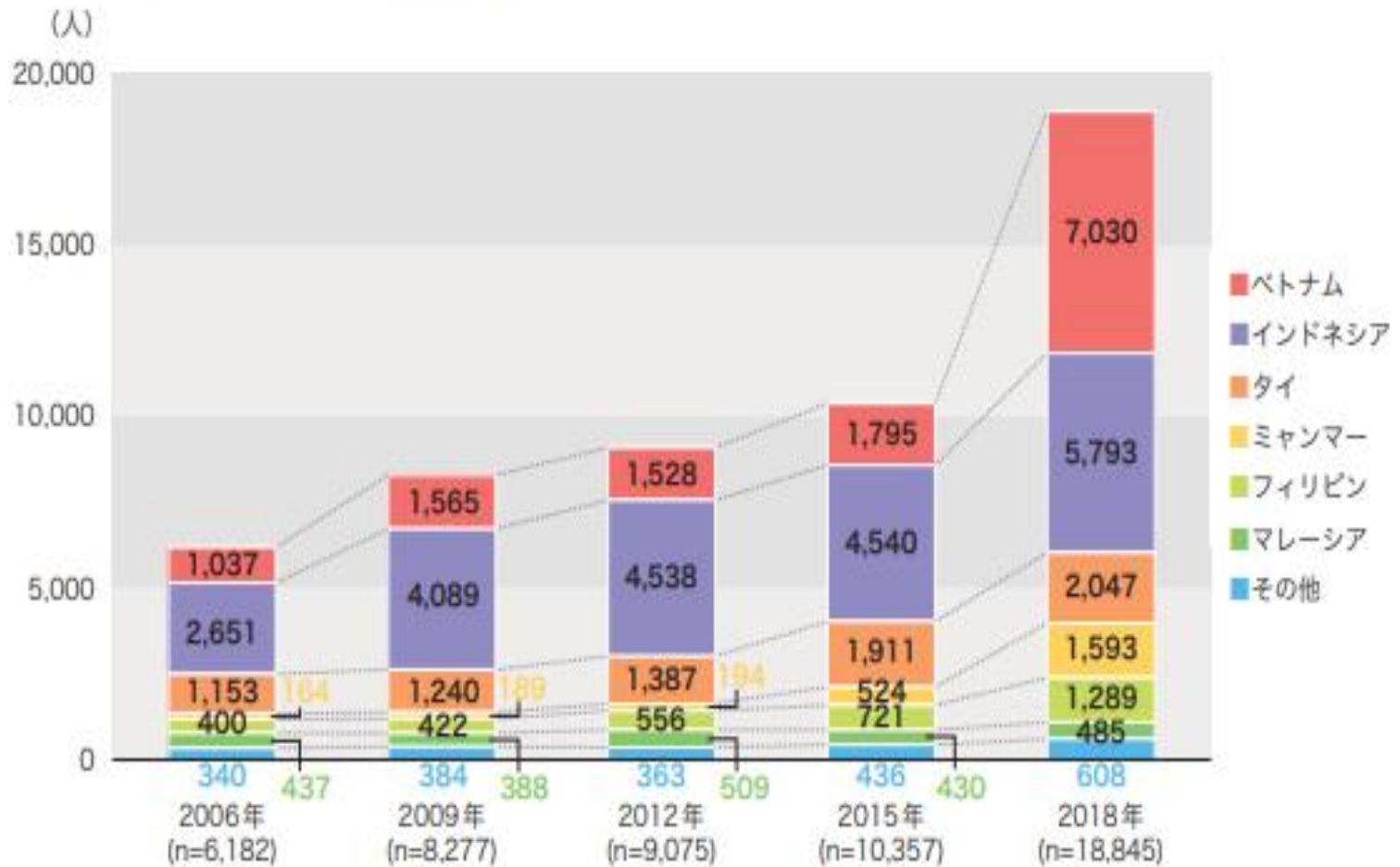
タイの日本語教育(機関)

グラフ2-2-1 東南アジアにおける機関教



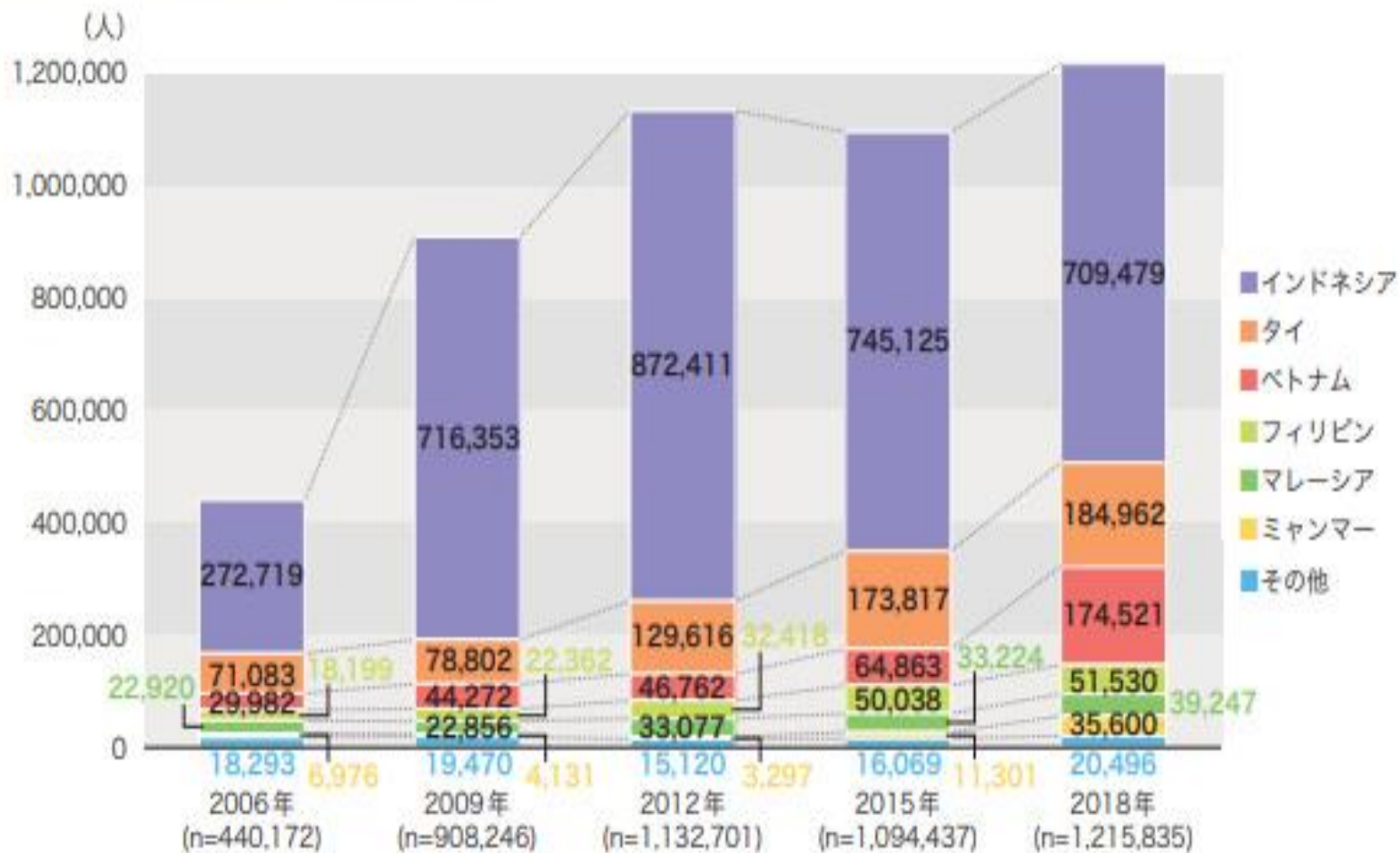
タイの日本語教育(教師)

グラフ2-2-2 東南アジアにおける教師数



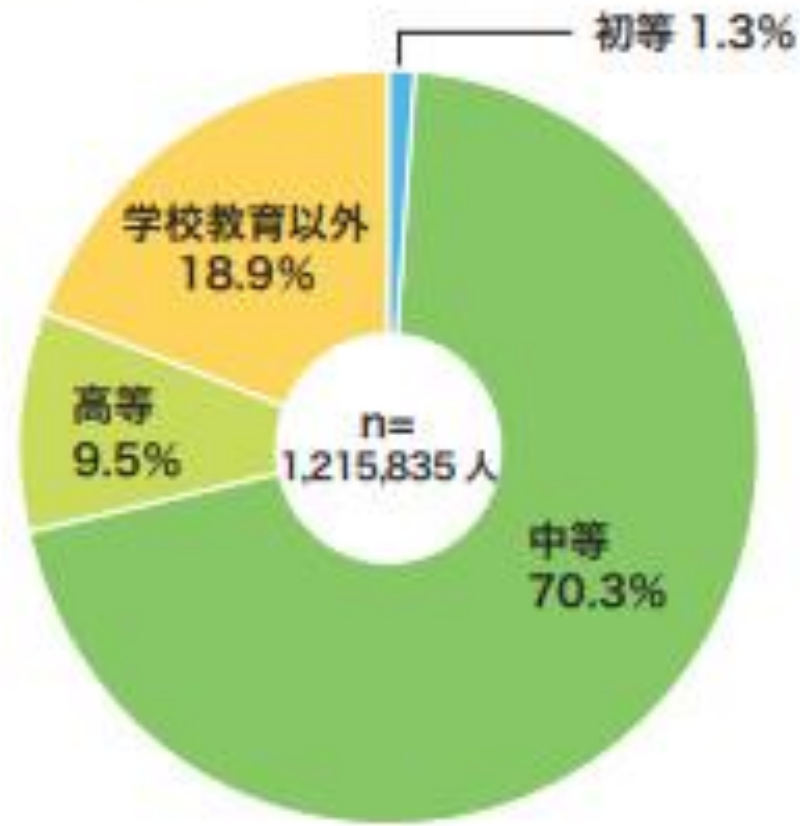
タイの日本語教育(学習者)

グラフ2-2-3 東南アジアにおける学習者数



タイの日本語教育(教育段階)

グラフ2-2-4 東南アジアにおける教育段階別学習者の割合



タイの日本語教育(日本語教育機関大国)

機関数(659機関・世界第8位)

2015年度 順位	2018年度 順位	国・地域名	2015年度 機関数(機関)	2018年度 機関数(機関)	増減数(機関)	増減率(%)
1	1	韓国	2,862	2,998	+136	+4.8
2	2	インドネシア	2,496	2,842	+346	+13.9
3	3	中国	2,115	2,435	+320	+15.1
4	4	オーストラリア	1,643	1,764	+121	+7.4
5	5	米国	1,462	1,445	△ 17	△ 1.2
6	6	台湾	851	846	△ 5	△ 0.6
12	↑ 7	ベトナム	219	818	+599	+273.5
7	↓ 8	タイ	606	659	+53	+8.7
18	↑ 9	ミャンマー	132	400	+268	+203.0
9	↓ 10	ブラジル	352	380	+28	+8.0

タイの日本語教育(日本語教師大国)

教師数(2,047名・世界第8位)

2015年度 順位	2018年度 順位	国・地域名	2015年度 教師数(人)	2018年度 教師数(人)	増減数(人)	増減率(%)
1	1	中国	18,312	20,220	+1,908	+10.4
2	2	韓国	14,855	15,345	+490	+3.3
8	 3	ベトナム	1,795	7,030	+5,235	+291.6
3	 4	インドネシア	4,540	5,668	+1,128	+24.8
5	5	台湾	3,877	4,106	+229	+5.9
4	 6	米国	3,894	4,018	+124	+3.2
6	 7	オーストラリア	2,800	3,135	+335	+12.0
7	 8	タイ	1,911	2,047	+136	+7.1
15	 9	ミャンマー	524	1,542	+1,018	+194.3
12	 10	フィリピン	721	1,298	+577	+80.0

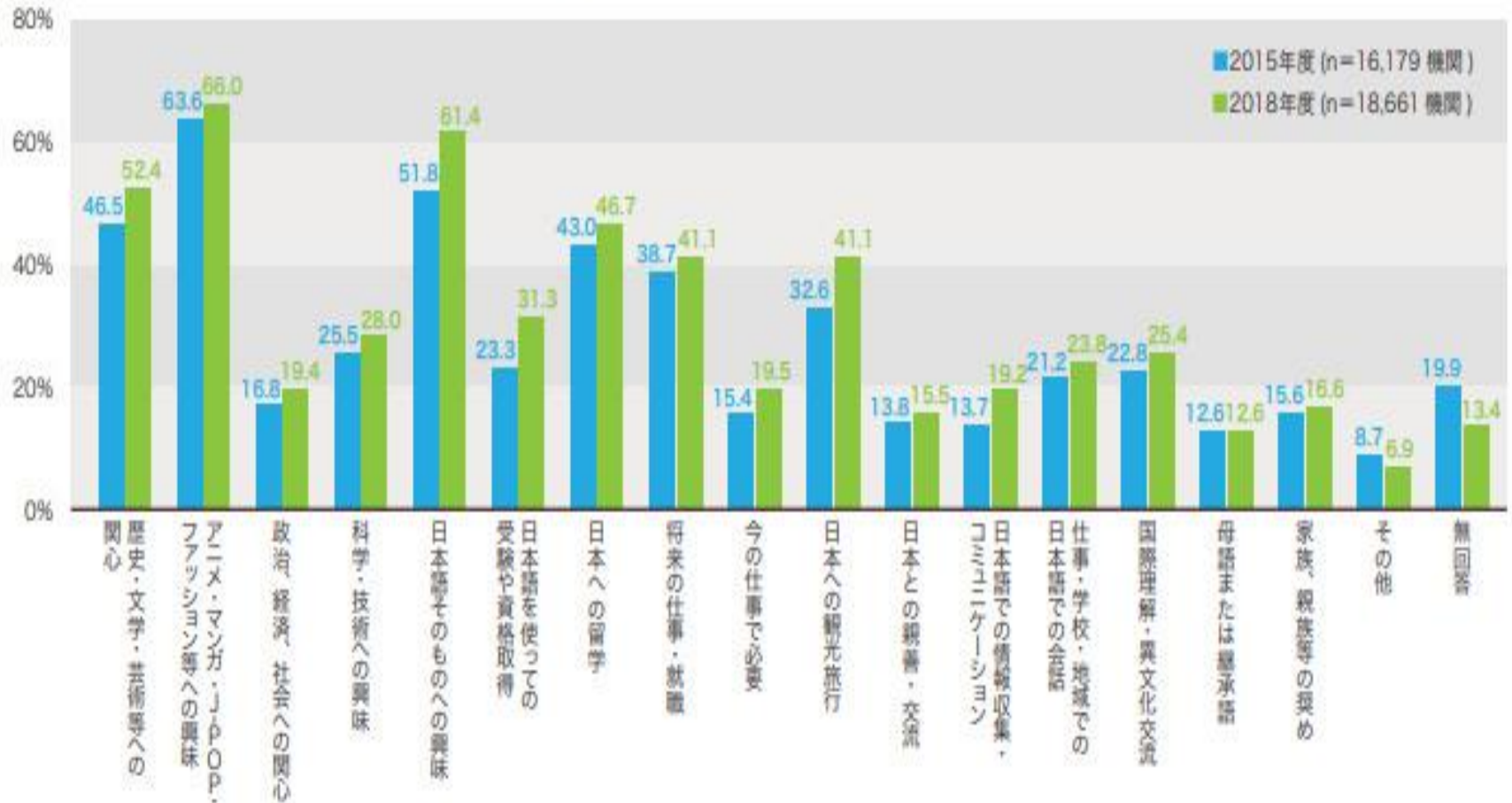
タイの日本語教育(日本語学習者大国)

学習者数(184,962名・世界第5位)

2015年度 順位	2018年度 順位	国・地域名	2015年度 学習者数(人)	2018年度 学習者数(人)	増減数(人)	増減率(%)
1	1	中国	953,283	1,004,625	+51,342	+5.4
2	2	インドネシア	745,125	706,603	△ 38,522	△ 5.2
3	3	韓国	556,237	531,511	△ 24,726	△ 4.4
4	4	オーストラリア	357,348	405,175	+47,827	+13.4
6	 5	タイ	173,817	184,962	+11,145	+6.4
8	 6	ベトナム	64,863	174,461	+109,598	+169.0
5	 7	台湾	220,045	170,159	△ 49,886	△ 22.7
7	 8	米国	170,998	166,565	△ 4,433	△ 2.6
9	9	フィリピン	50,038	51,892	+1,854	+3.7
10	10	マレーシア	33,224	39,247	+6,023	+18.1

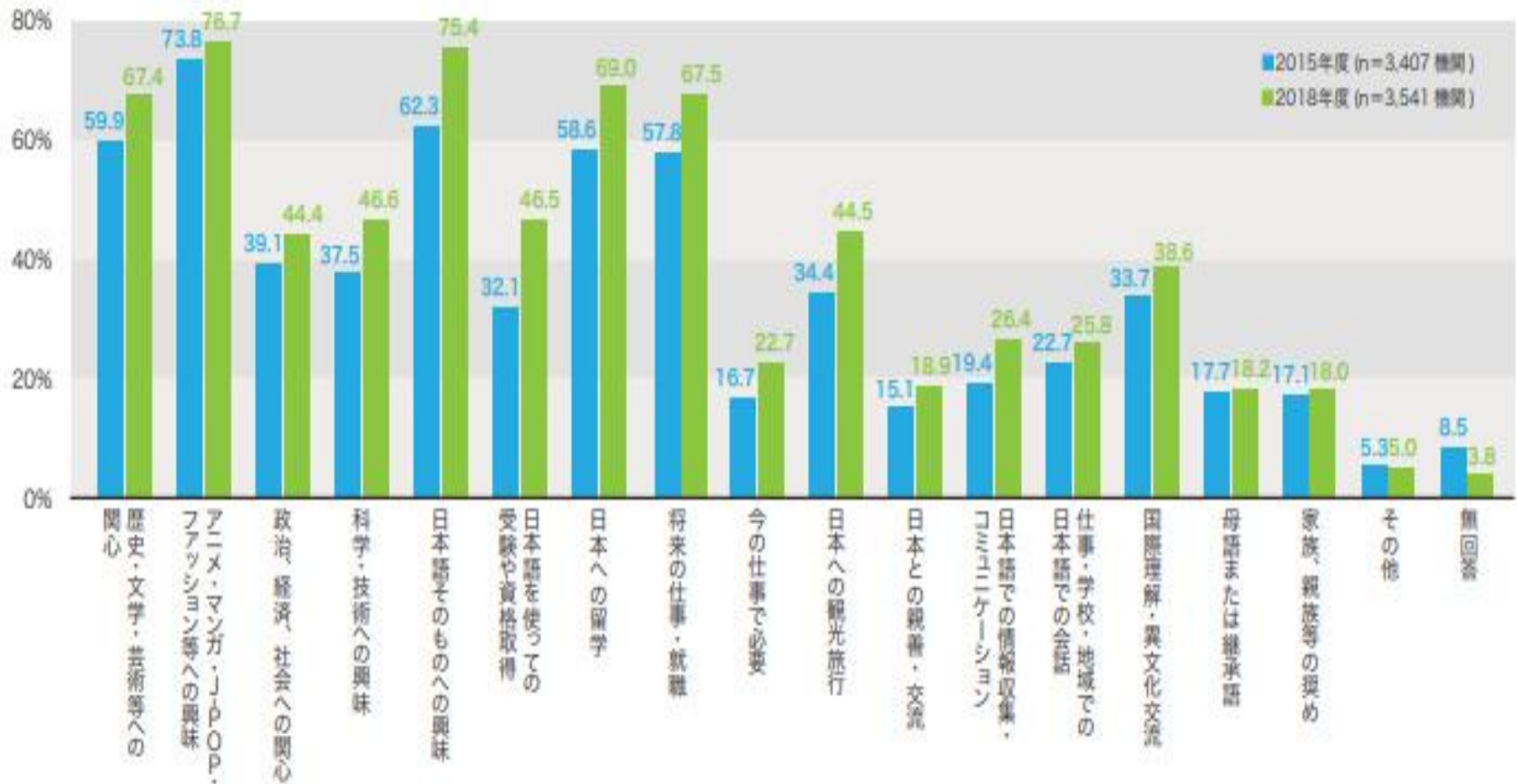
日本語教育(学習目的)

グラフ1-5-1 日本語学習の目的(全教育段階)



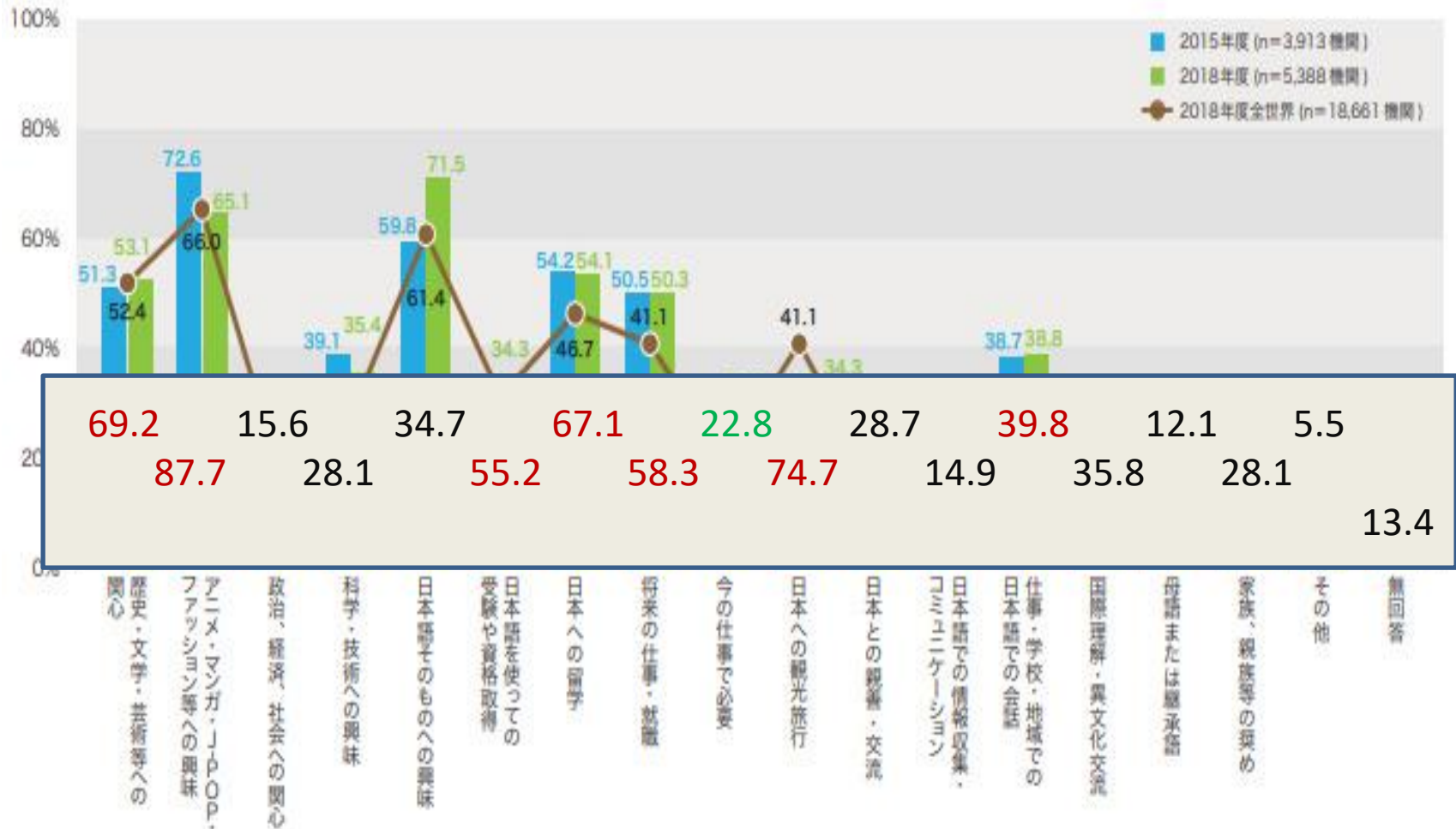
高等教育の日本語教育(学習目的)

グラフ1-5-4 日本語学習の目的(高等教育)



タイの日本語教育(学習目的)

グラフ2-2-5 東南アジアにおける日本語学習の目的



2. 海外の日本語教育の主な課題

② 学習モチベーションの維持・向上に関する課題

〔日本語学習の目的・理由〕

- ・留学や仕事・就職といったより具体的、実利的な動機と、日本文化や日本語自体への興味・関心からくる動機の割合が高い。

2018年海外日本語教育機関調査:速報結果



日本語パートナーズの活動 シンガポールでの就職セミナー



→各国の学習者の志向に応えるイベントの実施・広報や、
日本語を学ぶインセンティブ(「出口」)を提示することが重要

タイの日本語教育(特徴)

1. 海外の日本語教育事情

地域毎の日本語教育の多様な状況

- ・地域によって日本語の学習者が多い教育段階(ボリュームゾーン)は異なる。
- ・日本語を学習する主な動機、各機関が抱える課題も様々。

地域	学習者が最も多い教育段階 (初等/中等/高等/学校教育以外)	特徴的な学習動機	主な課題
東アジア	高等(39.8%)	観光旅行、 受験・資格取得	教育制度における外国語教育 の位置づけの変化
東南アジア	中等(70.4%)	仕事・就職、留学	日本語教師の増加に対応した 研修機会の確保
南アジア	学校教育以外(47.6%)	留学、仕事・就職	学習者数の増加に伴う教師の 確保・養成
大洋州	初等(59.9%)	ポップカルチャー、 歴史・文学	初等教育から中等・高等教育へ のアーティキュレーション(連結)
北米	高等(41.7%)	ポップカルチャー、 歴史・文学、観光	教育予算の削減による正規の 教師の減少
中南米	学校教育以外(60.3%)	留学、仕事・就職、 母語・継承語	学習者数の増加に伴う教師の 確保・養成
西欧	高等(44.2%)	ポップカルチャー、 歴史・文学、観光	それぞれの国の言語に対応した 教材の確保
東欧・中央アジア	高等(37.8%)	ポップカルチャー、 歴史・文学、留学	教師の確保と定着、 講座の安定的な運営
中東・アフリカ	高等(37.6%)	ポップカルチャー、 歴史・文学、留学	教師や教材の不足、 日本語を学べる機関の少なさ

2018年度日本語教育機関調査結果

機関数	教師数	学習者数								
		合計	初等教育		中等教育		高等教育		学校教育以外	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
659	2,047	184,962	4,028	2.2%	143,872	77.8%	20,506	11.1%	16,556	9.0%

(注) 2018年度日本語教育機関調査は、2018年5月～2019年3月に国際交流基金が実施した調査です。また、調査対象となった機関の中から、回答のあった機関の結果を取りまとめたものです。そのため、当ページの文中の数値とは異なる場合があります。

機関別学習者数(2018年度)

- 初等教育機関: 2.18%
- 中等教育機関: **77.78%** 特に高校
(中等教育後期が中心)
- 高等教育機関: **11.09%**
- 民間日本語学校等: 8.95%

国・地域	2015年			2018年								人口* (人)
	機関 (機関)	教師 (人)	学習者 (人)	機関 (機関)	教師 (人)	学習者 (人)	10万人あたりの学習者 (人)	教育段階の構成 (学習者) (人)				
								初等	中等	高等	学校教育以外	
インドネシア	2,496	4,540	745,125	2,879	5,793	709,479	298.6	7,148	650,215	28,799	23,317	237,641,326
タイ	606	1,911	173,817	659	2,047	184,962	280.3	4,028	143,872	20,506	16,556	65,981,659

タイの日本語教育(高等教育)

高等教育:156機関(2019年2月時点)の内訳

- 国立(自治・非自治)大学:37校
- 国立地域総合大学(ラチャパット):38校
- 国立技術工科大学(ラジャマンガラ):9校
- 私立大学(単科・総合):72校

タイの日本語教育(高等教育)

1)日本語科目(主・副専攻・選択科目)が開講
されている大学

-国立等・私立大学:90校以上(57.69%)

2)主専攻課程がある大学

-国立(自治・非自治)大学:16校(43.2%)

-国立地域総合・技術工科大学:14校(29.79%)

-私立大学:11校(15.28%)

タイの日本語教育

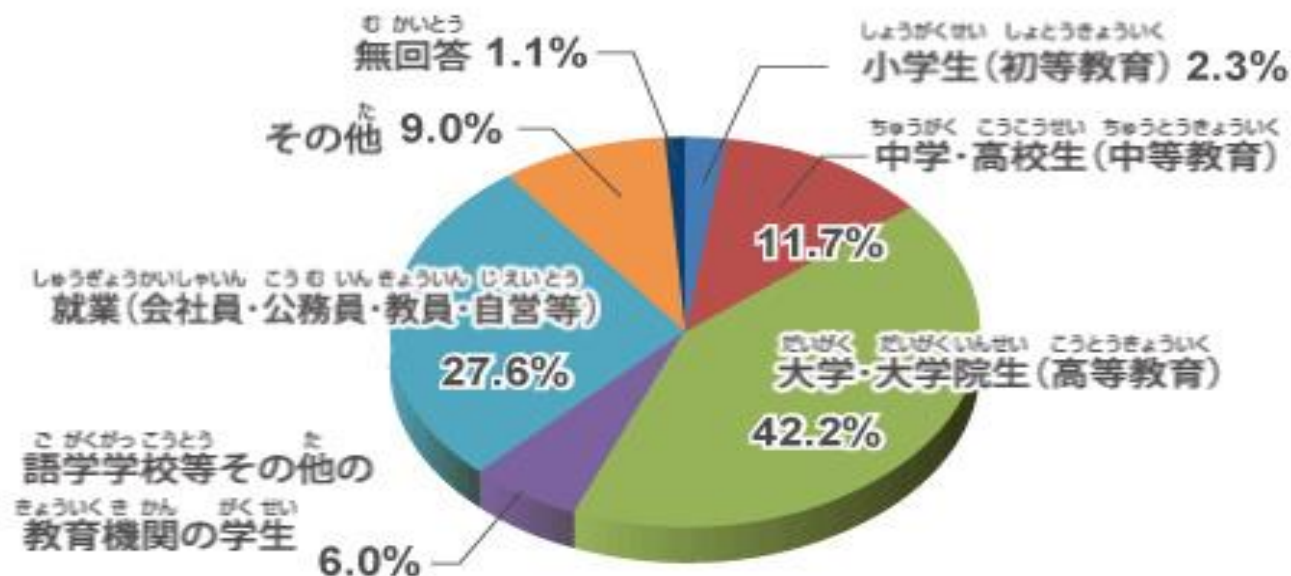
現在タイ国内の教師会

タイ国日本語日本文化教師協会 (JTAT) :	タイ国内の大学、ラチャパット大学、高校のタイ人日本語教師を中心とした組織。
タイ国日本語教育研究会 (JTAT) :	タイで日本語を教える教師の全国組織、日本人教師中心。
北部タイ中等教育日本語教師会 :	北部タイの中等教育機関で日本語を教えている教師により構成されている。「北部タイ高校生日本語コンテスト」などを主催。
南部日本語教師会 :	ソンクラーを中心とした南部地域の各機関の日本語教師により組織されている。
北部タイ日本語日本研究大学コンソーシアム :	北部タイで日本語主専攻コース、日本研究修士課程を開講している8機関が参加して、定例会や活発な活動を実施している。
タイにおける母語・継承語としての日本語教育研究会 (JMHERAT) :	主に年少者に母語または継承語として日本語を教える教師と保護者の会。

日本語能力試験(JLPT)

おほしゅう たくせい 応募者の属性

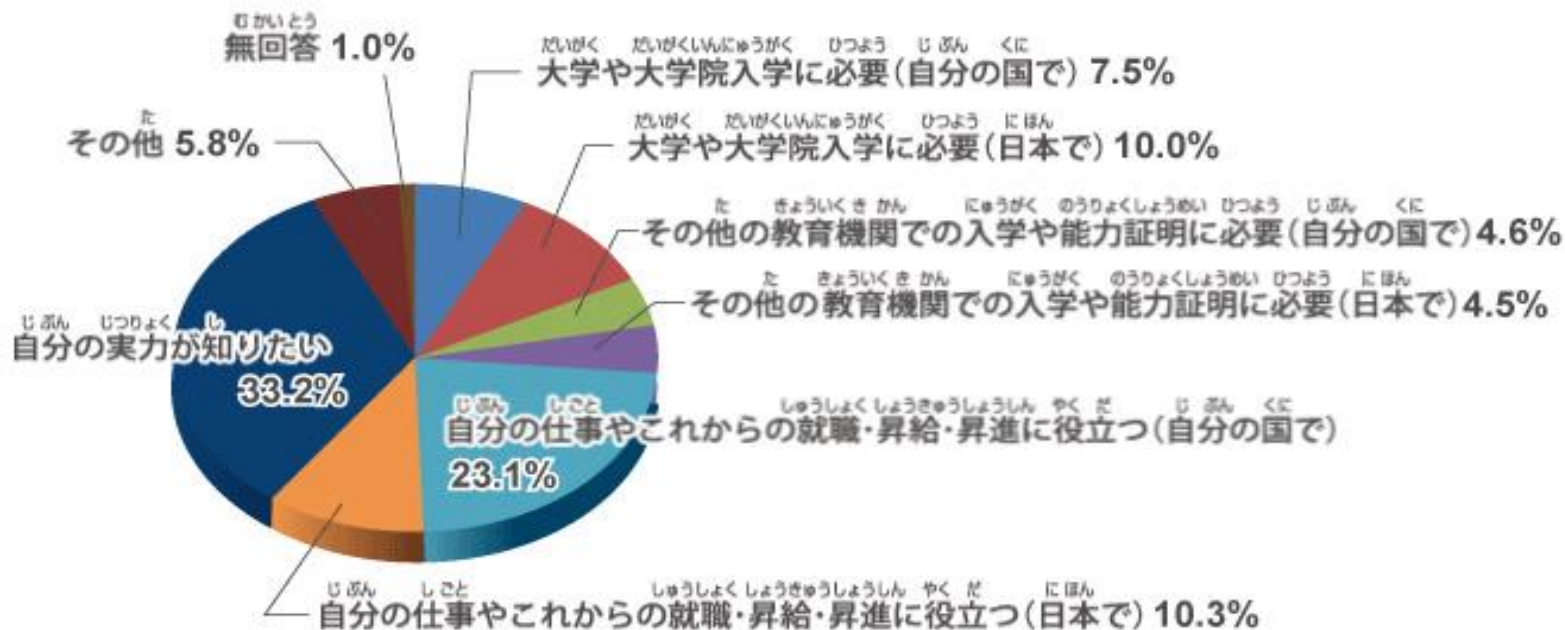
しょうがくせい しゃかいじん
小学生から社会人まで。日本語能力試験に年齢は関係ありません。



回答者：2018年第2回（12月）試験の海外の応募者。（有効回答者数343,241名）
国際交流基金が実施した海外76の国・地域の232都市が対象。

じゅげんりゆう
受験理由

しんがくしゅうしゅくちからため にほんごのうりょくしけん もくてき かつよう
進学、就職、力試し。日本語能力試験はさまざまな目的で活用されています。



回答者: 2018年第2回(12月)試験の海外の応募者。(有効回答者数343,241名)
国際交流基金が実施した海外76の国・地域の232都市が対象。

■ 2019 (令和元) 年第1回 (7月) データ

	レベル	N1	N2	N3	N4	N5	ごさい 合計
ごさい 国内	おほしやすう 応募者数	48,079	69,844	72,951	25,060	4,566	220,500
	じゅけんしやすう 受験者数 ※	42,997	64,503	68,231	23,115	4,085	202,931
	にんていしやすう 認定者数	12,660	21,885	24,513	7,452	2,520	69,030
	にんていりつ 認定率(%)	29.4%	33.9%	35.9%	32.2%	61.7%	34.0%
ごさい 海外	おほしやすう 応募者数	87,919	118,683	84,794	69,925	62,283	423,604
	じゅけんしやすう 受験者数 ※	73,863	99,931	68,019	56,616	49,088	347,517
	にんていしやすう 認定者数	21,575	37,275	29,153	18,613	22,797	129,413
	にんていりつ 認定率(%)	29.2%	37.3%	42.9%	32.9%	46.4%	37.2%
ごさい 国内・ ごさい 海外 ごさい 合計	おほしやすう 応募者数	135,998	188,527	157,745	94,985	66,849	644,104
	じゅけんしやすう 受験者数 ※	116,860	164,434	136,250	79,731	53,173	550,448
	にんていしやすう 認定者数	34,235	59,160	53,666	26,065	25,317	198,443
	にんていりつ 認定率(%)	29.3%	36.0%	39.4%	32.7%	47.6%	36.1%

日本語検定資格試験

日本語能力に関しCEFRのA2相当以上のレベルであることを証明するための試験

令和2年6月19日現在

試験名	A2相当以上のレベル	試験実施機関
日本語能力試験	N4以上	独立行政法人国際交流基金 公益財団法人日本国際教育支援協会
実用日本語検定J.TEST	E級以上	日本語検定協会/J.TEST事務局
JLCT Japanese Language Capability Test	JCT4以上	一般社団法人外国人日本語能力検定機構
STBJ標準ビジネス日本語テスト	BJ4以上	一般社団法人応用日本語教育協会
TOPJ実用日本語運用能力試験	初級A-4以上	一般財団法人アジア国際交流奨学財団
日本語NAT-TEST	4級以上	株式会社専門教育出版
J-cert生活・職能日本語検定	準中級以上	公益財団法人国際人財開発機構

※新たに日本語教育機関の告示基準第1条第1項第44号に規定する日本語能力に関する試験として適当と認められる試験があった場合及び掲載されている試験の実施状況により、本リストは更新されることがあります。

※「JLCT Japanese Language Capability Test」におけるA2相当以上のレベルは、「JCT3以上」としていましたが、令和2年6月19日付けで「JCT4以上」に訂正しました。「JLCT Japanese Language Capability Test」については、当初からA2相当以上のレベルは「JCT4以上」であったため、令和2年3月30日以前に受けた試験においても、「JCT4以上」がA2相当以上のレベルとなります。詳細については、一般社団法人外国人日本語能力検定機構のホームページ(<https://www.jlct.jp/>)を御確認ください。

外国語の習得度(CEFR)

■ CEFR (Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment: 外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠)について

CEFRは、語学シラバスやカリキュラムの手引きの作成、学習指導教材の編集、外国語運用能力の評価のために、透明性が高く、分かりやすい、包括的な基盤を提供するものとして、20年以上にわたる研究を経て、2001年に欧州評議会が発表した。

CEFRが示している6段階の共通参照レベルの記述は次のとおり。

熟練した 言語使用者	C2	聞いたり読んだりした、ほぼ全てのものを容易に理解することができる。いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構築できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができる。
	C1	いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。社会生活を営むため、また学問上や職業上の目的で、言葉を柔軟かつ効果的に用いることができる。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文章を作ることができる
自立した 言語使用者	B2	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないで普通にやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について明確で詳細な文章を作ることができる。
	B1	仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。
基礎段階の 言語使用者	A2	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。
	A1	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。自分や他人を紹介することができ、住んでいるところや、誰と知り合いであるか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。

(出典) ブリティッシュ・カウンシル、ケンブリッジ大学英語検定機構

CEFR

A1 : 学習を始めたばかりの者・初学者

A2 : 学習を継続中の者・初級者

B1 : 習得しつつある者・中級者

B2 : 実務に対応できる者・準上級者

C1 : 優れた言語運用能力を有する者・上級者

C2 : 母語話者と遜色のない熟練者」

英語検定との比較

CEFR	実用英語技能検定 1級-3級	GTEC Core Basic Advanced CBT	TEAP	TEAP CBT	IELTS	TOEFL iBT	TOEIC L&R/ TOEIC S&W	ケンブリッジ 英語検定
C2					9.0 8.5			230 200
C1	3299 2600	1400 1350	400 375	800	8.0 7.0	120 95	1990 1845	199 180
B2	2599 2300	1349 1190	374 309	795 600	6.5 5.5	94 72	1840 1560	179 160
B1	2299 1950	1189 960	308 225	595 420	5.0 4.0	71 42	1555 1150	159 140
A2	1949 1700	959 690	224 135	415 235			1145 625	139 120
A1	1699 1400	689 270					620 320	119 100

赤の点数は各級合格スコア ※括弧内の数値は、各試験におけるCEFRとの対象関係として測定できる能力の範囲の上限と下限

英語検定との比較

各資格・検定試験とCEFRとの対照表

文部科学省（平成30年3月）

CEFR	ケンブリッジ 英語検定	実用英語技能検定 1級-3級	GTEC Advanced Basic Core CBT	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R/ TOEIC S&W
C2	230 200 (230) (210) (180) C1 Proficiency			9.0 8.5				
C1	199 180 (190) C1 Advanced	3299 2600 (3299) 2630 1級	1400 1350 (1400)	8.0 7.0	400 375	800	120 95	1990 1845
B2	179 160 (170) B2 First / for Schools C1 Advanced	2599 2300 (2599) 2304 準1級 (2304)	1349 1190 (1280)	6.5 5.5	374 309	795 600	94 72	1840 1560
B1	159 140 (150) B1 Preliminary / for Schools B2 First / for Schools	2299 1950 (2299) 1980 2級 (1980)	1189 960 (1080)	5.0 4.0	308 225	595 420	71 42	1555 1150
A2	139 120 (120) B1 Preliminary / for Schools A2 Key / for Schools	1949 1700 (1949) 1728 準2級 (1728)	959 690 (840)		224 135	415 235		1145 625
A1	119 100 (100) 各試験CEFR 算出範囲	1699 1400 (1699) 1456 3級 (1400)	689 270 (270)					620 320

→ は各級合格スコア

※括弧内の数値は、各試験におけるCEFRとの対象関係として測定できる能力の範囲の上限と下限

○ 表中の数値は各資格・検定試験の定める試験結果のスコアを指す。スコアの記載がない欄は、各資格・検定試験において当該欄に対応する能力を有していると認定できないことを意味する。

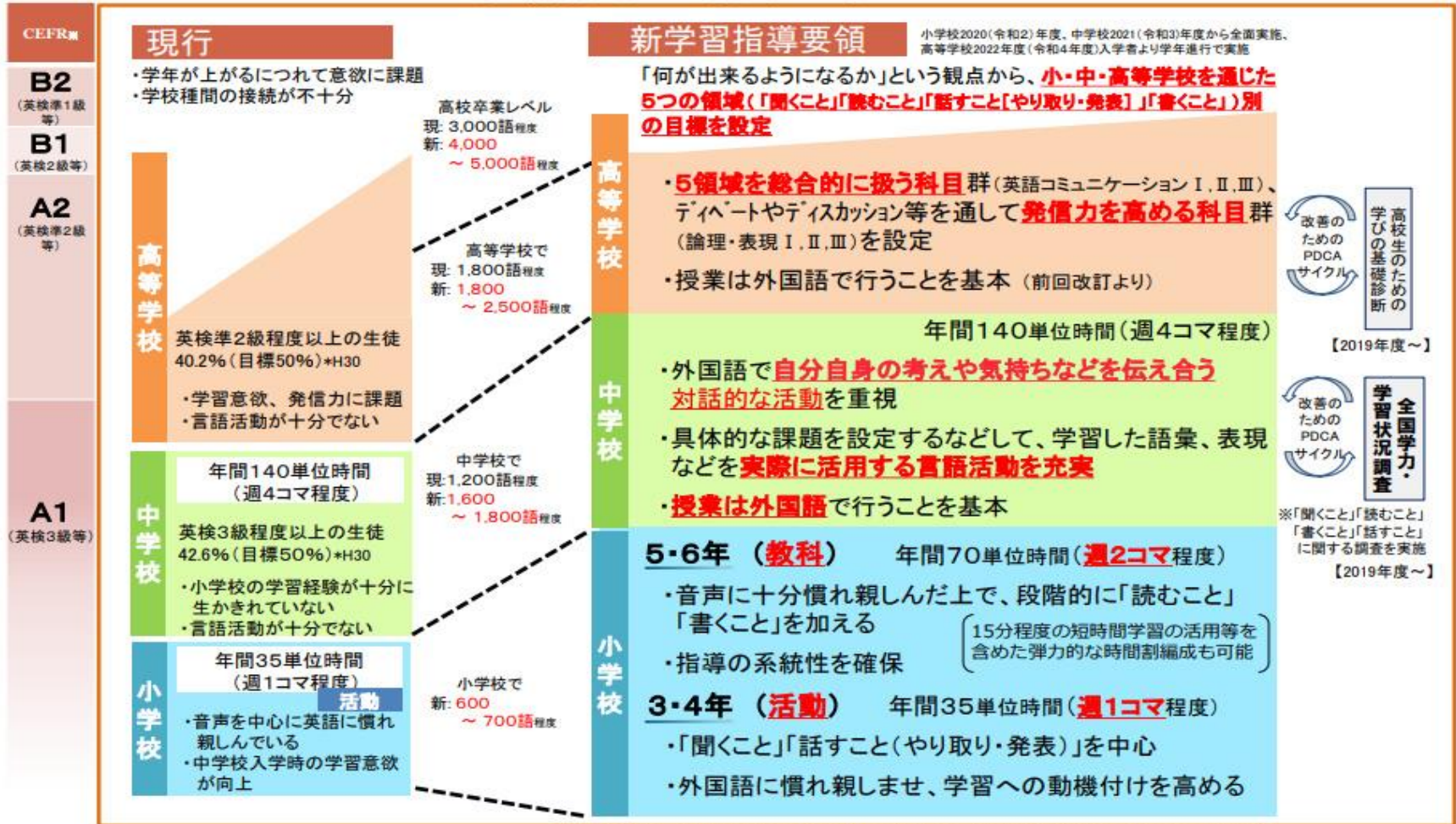
※ ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定及びGTECは複数の試験から構成されており、それぞれの試験がCEFRとの対照関係として測定できる能力の範囲が定められている。当該範囲を下回った場合にはCEFRの判定は行われず、当該範囲を上回った場合には当該範囲の上限に位置付けられているCEFRの判定が行われる。

※ TOEIC L&R/ TOEIC S&Wについては、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定する。

※ 障害等のある受検生について、一部技能を免除する場合等があるが、そうした場合のCEFRとの対照関係については、各資格・検定試験実施主体において公表予定。

小中高の英語教育との比較

外国語教育の抜本的強化のイメージ



※CEFR: 欧州評議会 (Council of Europe) が示す、外国語の学習や教授等のためのヨーロッパ共通参照枠を言う。英検との対照は日本英語検定協会が公表するデータによる。

英語・日本語検定試験との比較

学習者のイメージ		基礎段階の言語使用者		自立した言語使用者		熟練した言語使用者	
CEFRレベル		A1	A2	B1	B2	C1	C2
英語能力 測定試験	TOEFL			42-71	72-94	95-120	
	IELTS			4.0-5.0	5.5-6.5	7.0-8.0	8.5-9.0
	英検	3級	準2級	2級	準1級	1級	
日本語能力 測定試験	日本語 能力試験	N5	N4	N3	N2	N1	
	JLCA	A1	A2	B1	B2	C1	C2

※「話す」「書く」は測定しないため、「読む」「聞く」2技能のみ参考

「CEFR」の考え方に則り、日本語試験と英語試験の成績を、CEFR対照表として作成した。
 英語能力を測定する、「TOEFL」、「IELTS」、「英検」共に、言語に必要な4つの技能全てを測定し、受験者の英語によるコミュニケーション能力を総合的に判定している。
 しかし、日本語能力試験（JLPT）は、2技能試験である為、厳密にはCEFRには準拠しないが、認識能力を考慮しCEFR対照表に記載した。

海外のJLPT受験者の傾向

表1 2018/2019年度・海外全体の日本語能力試験受験者数

日本語レベル	N5	N4	N3	N2	N1	総数
2018年7月 実施	42,463名 14.1%	42,468名 14.1%	58,417名 19.4%	89,320名 29.7%	68,235名 22.7%	300,903名 100.0%
2018年12月 実施	55,810名 16.3%	57,009名 16.6%	64,907名 18.9%	94,099名 27.4%	71,416名 20.8%	343,241名 100.0%
2018年度 (合計)	98,273名 15.3%	99,477名 15.4%	123,324名 19.1%	183,419名 28.5%	139,651名 21.7%	644,144名 100.0%
2019年7月 実施	49,088名 14.1%	56,616名 16.3%	68,019名 19.6%	99,931名 28.8%	73,863名 21.2%	347,517名 100.0%
2019年12月 実施	60,405名 15.8%	74,677名 19.6%	70,540名 18.5%	100,630名 26.3%	75,681名 19.8%	381,933名 100.0%
2019年度 (合計)	109,493名 15.0%	131,293名 18.0%	138,559名 19.0%	200,561名 27.5%	149,544名 20.5%	729,450名 100.0%

出所：日本語能力試験公式ウェブサイトより筆者作成

タイのJLPT受験者の傾向

表 2 2018/2019 年度・タイの日本語能力試験受験者数

日本語レベル	N5	N4	N3	N2	N1	総数
2018年7月実施	3,077名 25.7%	3,164名 26.4%	2,700名 22.6%	2,117名 17.7%	908名 7.6%	11,966名 100.0%
2018年12月実施	4,632名 31.6%	3,797名 25.9%	2,882名 19.7%	2,280名 15.5%	1,073名 7.3%	14,664名 100.0%
2018年度(合計)	7,709名 29.0%	6,961名 26.1%	5,582名 21.0%	4,397名 16.5%	1,981名 7.4%	26,630名 100.0%
2019年7月実施	3,147名 25.0%	3,327名 26.5%	2,843名 22.6%	2,199名 17.5%	1,060名 8.4%	12,576名 100.0%
2019年12月実施	4,575名 35.2%	3,571名 27.4%	2,292名 17.6%	1,705名 13.1%	871名 6.7%	13,014名 100.0%
2019年度(合計)	7,722名 30.2%	6,898名 27.0%	5,135名 20.1%	3,904名 15.2%	1,931名 7.5%	25,590名 100.0%

出所：日本語能力試験公式ウェブサイトより筆者作成

本学日本語学習者の対日本人イメージ(2014年度)

表6 「日本人」に対するイメージに関するキーワード内容・出現回数

項目	キーワード内容	出現回数	22	愛想が良い	1
1	可愛い	26	23	優越的態度を取らない	1
2	規律正しい	14	24	気配り	1
3	時間通り	6	25	良い習慣	1
4	几帳面	5	26	近づきやすい	1
5	親切	4	27	親しい・友好的	1
6	責任感	4	28	親しみやすい	1
7	礼儀正しい	4	29	相互尊重	1
8	丁寧	4	30	賢い	1
9	可愛らしい	3	31	率直	1
10	冷静・落ち着いた	3	32	尊敬できる	1
11	誠意・誠実	3	33	遠慮・内気	1
12	謙虚	3	34	いつでも・どこでも読書	1
13	微笑みやすい	2	35	面白い	1
14	寛容・寛大	2	36	白い肌	1
15	行き届いた躰	2	37	はつらつとした顔	1
16	付き合いやすい	2	38	賞賛に値する	1
17	丁寧な言葉遣い	2	39	仕事に厳しく・真剣	1
18	組織的・組織化	1	40	団結心	1
19	清潔	1	41	良好な人間関係	1
20	美しい	1	42	厳しい規則	1
21	独特	1	43	子供のような面白い振る舞い	1
			延数		115

日本人に対するイメージ(現地紙)

Q.10 日本人に対する イメージ(複数回答可)

1位 責任感が強い…71人	9位 本音と建前がある …… 29人
2位 几帳面、細かい …… 70人	10位 クリエイティブ …… 28人
3位 愛国心が強い …… 54人	11位 謙遜しすぎる …… 22人
3位 働き過ぎ …… 54人	12位 たばこをよく吸う …… 19人
5位 社会貢献意識が高い …… 50人	13位 エコへの意識が高い …… 17人
6位 努力家 …… 48人	14位 性格が冷たい …… 16人
7位 マナーが良い …… 40人	15位 知識が豊富 …… 12人
8位 はっきり意見を言わない …… 38人	16位 お金持ち …… 5人

【その他の回答】食事のときの音がうるさい(麺をすする)5人、目を見て話さない3人、おもしろくない3人など

日本文化に対するイメージ

表7 「日本文化」に対するイメージに関わるキーワード内容・出現回数

項目	キーワード内容	出現回数	20	良い言語	1
1	興味深い	6	21	静寂	1
2	秩序重視	5	22	謙虚	1
3	可愛い	3	23	繊細	1
4	魅了させられる	3	24	桜	1
5	美しい	2	25	花火	1
6	個性的衣装	2	26	立派	1
7	着物・浴衣	2	27	賞賛に値する	1
8	顕著	2	28	良い衣装	1
9	サブカルチャー	2	29	衣装	1
10	個性的・独自の	2	30	整然とした	1
11	お辞儀	1	31	丁寧	1
12	容易に理解できる	1	32	魅力的	1
13	面白い	1	33	長期的・興味深い歴史	1
14	多様	1	34	美しい国	1
15	茶道	1	35	侍	1
16	長期的保護・保存	1	36	式典の詳細に対する留意	1
17	発展した	1	37	優雅・上品	1
18	社会・生活に根ざした	1	38	全時代の美しい詳細	1
19	美しい衣装	1	延数		57

日本の気候・地形に対するイメージ

表8 「日本の気候・地形」に対するイメージに関わるキーワード内容・出現回数

項目	キーワード内容	出現回数	14	美しい冬	1
1	寒い天気	12	15	美しい春	1
2	雪・降雪	11	16	美しい桜	1
3	良い天気	7	17	行きたい	1
4	涼しい天気	5	18	優雅な四季	1
5	四季	3	19	冬	1
6	春	3	20	冬のいい天気	1
7	良い四季	2	21	桜の美しい花	1
8	桜の花	2	22	桜の花が散る	1
9	旅行に楽しめる場所	2	23	旅行に良い天気	1
10	美しい国	1	24	良い風景	1
11	旅行者に美しい施設	1	25	暑くも寒くもない	1
12	旅行者に楽しめる施設	1	26	自然災害	1
13	住みやすい風景	1	延数		64

日本の 経済・政治・社会に対するイメージ

表 9 「日本の経済・政治・社会」に対するイメージに関わるキーワード・出現回数

項目	キーワード内容	出現回数	19	興味深い社会	1
1	(近代)科学技術の進歩	9	20	魅了させられる伝統保守	1
2	経済成長	8	21	可愛い社会	1
3	先進国(発展した国)	4	22	最も発展した	1
4	良い	3	23	服装	1
5	住みやすい社会	3	24	学校の制服	1
6	相互尊重	2	25	秩序的社會	1
7	(政治的)汚職がない	2	26	成長・発展	1
8	近代的	2	27	各分野における進歩	1
9	化粧	2	28	地震	1
10	衣装	2	29	事実に即した社会	1
11	良い政治	2	30	高い生活費	1
12	高度な科学技術の進歩	2	31	世界的科学技術発展の頂点	1
13	労働するのに良い経済	1	32	独自の存在性	1
14	政治的対立がない	1	33	良い進歩	1
15	発展	1	34	科学技術	1
16	法・社会的規則の尊重	1	35	コミュニケーション	1
17	義務を知っている	1	36	相互扶助	1
18	住みやすい国	1	延数		65

本学科学学生の就職観(2018年調査)

Item	Content	No.	%	5		15	75.0
1	収入さえあればよい	17	85.0	6	プライドのもてる仕事をしたい	8	40.0
2	楽しく働きたい	19	95.0	7	人のためになる仕事をしたい	3	15.0
3	自分の夢のために働きたい	17	85.0	8	出世したい	7	35.0
4	個人の生活と仕事を両立させたい	13	65.0			Total	99

本学科学生の就職観(2018年調査)

- 就職観では、比率に差は見られるものの、全ての項目が選択された。
- 就職観で約80%以上の項目は、高い順から、項目2の楽しさ95%、項目1の収入85%、項目3の自分の夢85%、項目5のプライド75%で、2と5からは、労働を精神的満足感と捉えること、1からは生活手段としての労働観、3からは自己実現の方法としての仕事観が見られ、働くことの目的や意義に対する多様な態度が見られた。
- こうした異なる態度が混じりあっていると言えるかもしれない。何れにせよ、個人の内在的価値を反映している結果となった。
- 項目4の生活と仕事の両立に見られるように、半数超は(65%)は切り離して考えている傾向も見られた。
- 仕事を生活の延長と捉える学生と仕事を生活の一部として捉える学生が見られた点は、学生の就職意識の相違が根底的に存在していると指摘できよう。

本学科学生の企業選択理由

Item	Content	No.	%	11	自分の能力・専門を活かせる会社	1	2.5
1	安定している会社	13	32.5	12	大学・男女差別のない会社	4	10.0
2	これから伸びそうな会社	3	7.5	13	若手が活躍できる会社	1	2.5
3	給料の良い会社	7	17.5	14	事業を多角化している会社	1	2.5
4	自分のやりたい仕事（職種）ができる会社	1	2.5	15	働きがいのある会社	1	2.5
5	有名な会社	0	0.0	16	志望業種の会社	0	0.0
6	休日、休暇の多い会社	0	0.0	17	親しみのある会社	0	0.0
7	勤務制度、住宅など福利厚生が良い会社	1	2.5	18	社風が良い会社	1	2.5
8	転勤のない会社	0	0.0	19	一生続けられる会社	0	0.0
9	海外で活躍できそうな会社	3	7.5	20	研修制度が整っている会社	1	2.5
10	いろいろな職種を経験できる会社	2	5.0		Total	40	100.0

本学科学学生の企業選択理由

●最多順 1、3、12、2/9、10、7/11/13/14/15/18/20

●選ばれなかった項目は、5、6、8、16、17、19であった。

キーワードで捉えて見ると、当然ながら、1. 安定32.5% 3給料17.5%、で労働条件を優先していることが明確になった。

●他方、5. 有名な会社0.0%、17. 親しみのある会社0.0%に拘っていないことも分かった。会社選択を外見的な理由でしていないことと思われる。

●これに加えて、16. 志望業種と19. 生涯(定年)まで働ける会社が選ばれなかった点も企業選択の中で、重要な基準となっていなかった。

●逆に、12. 差別がない会社 15. いい職場や18. 社風のように、会社よりも職場環境を重視している考え方が見えた。

本学科学生の企業選択理由

●そうした職場環境の中で、積極的な志向を見せる傾向も見られた。即ち、2. の伸びそうな会社、やりたい仕事がある会社、9. 海外で活躍できる、10. いろいろな職種を経験できる、11. 専門能力を活かせる、13. 若手が活躍できる、20. 研修制度がある、8. 転勤を受け入れている(転勤無しの会社を選んだ学生は皆無)点で、

●受身的な選択ではなく、多少なりとも自己の成長に重点を置く、チャレンジができる会社を求めていることも明らかになった。

●ある意味で、選択理由は会社への期待値を示すものと言える。

学生の就職観と企業選択理由の関連性

●質問1の就職観で約80%以上を占めた上位の項目1, 2, 3, 5を軸として、質問2の会社選択理由を照らし合わせると、二つの傾向が見られた。一つ目は、**自分自身の職業意識を優先した上で、会社選択を考えているタイプ**で、これは、質問2の1, 3, 4, 10, 11, 15の回答行動に見られる。

●もう一つのタイプは、会社の経営活動や実態を考慮に入れた選択行動で、項目2, 7, 9, 12, 13, 15, 18, 20が関連があると言えよう。**自己の職業可能性を視野に入れているタイプ**と言える。

まとめ

●労働条件 職場環境を重視する自己の嗜好判断に基づく就職観をもとに、会社選択にあつたては、外見的理由ではなく、**現状の自分の精神的満足度や達成感を享受できる会社を基準に選択する傾向が見られた。**

●その一方で、**自己実現を志向するやや積極的な態度も見られた。**また、就職観と企業選択理由を繋げる関連性では、**自己安定性志向と自己発展志向**の二つが見られた。

タイの日本語教育の将来像

1. タイにおける日本語教育の高度化・成熟化
中等教育から高等教育へ
(日本語教育の広さと深さの追求)
2. 現代文化を通してのタイ・日を結びつける
日本語教育に向けて: 共感的日本語教育
3. タイ・日関係: 協力・協同・協働 = 連携
日本語教育の量的・質的发展のバランス
(物的・人的・心的交流)

タイの日本語教育の将来的在り方

今後の日本語教育の方向性

1. タイ日・日タイ関係の発展は**日本(日本国・日本人・日本文化など)**に対する**共感・信頼・好意**などを醸成するきっかけになるろう。
2. 日本語を学ぶタイ人学習者の動向は**今後のタイ日関係の進展・深化**に関わると思われる。
3. タイ人・日本人との**結びつき(友好関係)**を深める大きな指標になるろう。

พศ.ดร.ยาสุมาสา โมริ
ASST. PROF. YASUMASA MORI, Ph.D.
DEPARTMENT CHAIR,
JAPANESE FOR BUSINESS COMMUNICATION (JBC)
SCHOOL OF LIBERAL ARTS

**SRIPATUM
UNIVERSITY**

2410/2 PHAHOLYOTHIN RD.,
JATUJAK, BANGKOK
10900 THAILAND

TEL. : (662) 579 1111 EXT. 1586

E-MAIL : yasumasa.mo@spu.ac.th
sripatum.thailand@gmail.com

WEBSITE : <http://spujapanese.jimdo.com/>

FB : <https://ja-jp.facebook.com/spu.japanese>

SRIPATUM UNIVERSITY



SPU-Japanese

📷 編集



**SPU-Japanese - ภาษาญี่ปุ่น
เพื่อการสื่อสารธุรกิจ**

@spu.japanese · 大学

✎ [メッセージを送信]を編集

参考・引用文献(順不同)

<https://www.thailandtravel.or.jp/about/outline/>

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/thailand/data.html#section1>

<https://ynu-isc-kokusai.jimdofree.com/%E6%97%A5%E6%9C%AC%E8%AA%9E/%E7%99%BA%E8%A1%A8%E4%BE%8B-%E8%AA%B2%E9%A1%8C%E3%81%A8%E6%96%87%E7%8C%AEb/%E3%82%BF%E3%82%A4%E3%81%AE%E6%97%A5%E6%9C%AC%E8%AA%9E%E6%95%99%E8%82%B2/>

<https://www.jlpt.jp/statistics/index.html>

<https://ynu-isc-kokusai.jimdofree.com/%E6%97%A5%E6%9C%AC%E8%AA%9E/%E7%99%BA%E8%A1%A8%E4%BE%8B-%E8%AA%B2%E9%A1%8C%E3%81%A8%E6%96%87%E7%8C%AEb/%E3%82%BF%E3%82%A4%E3%81%AE%E6%97%A5%E6%9C%AC%E8%AA%9E%E6%95%99%E8%82%B2/>

<https://www.jpj.go.jp/j/project/japanese/survey/area/country/2019/thailand.html>

参考・引用文献(順不同)

https://jlcat.org/comparison_cefr.html

<https://www.fourskills.jp/cefr>

https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/30/03/__icsFiles/afieldfile/2019/01/15/1402610_1.pdf

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000544472.pdf>

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kondankaito/nihongo_suishin_kankeisha/02/pdf/92010201_03.pdf

https://www-overseas-news.jsps.go.jp/wp/wp-content/uploads/2020/04/13.19.hamabata.ryusuke.bkk_.pdf

https://www.th.emb-japan.go.jp/jp/jis/ryugaku_kyoiku2013.pdf

参考・引用文献(順不同)

<https://jpsurvey.net/jfsearch/>

<http://www.moj.go.jp/content/001322194.pdf>

https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/wg7/20191203/shiryoku1_4.pdf

<http://spucon.spu.ac.th/filemanager/files/%E0%B8%81%E0%B8%A5%E0%B8%B8%E0%B9%88%E0%B8%A1%201%20International%281%29.pdf>

WAAの皆様、ありがとうございました

ขอบคุณมากครับ

コープクンマーク・クラブ

